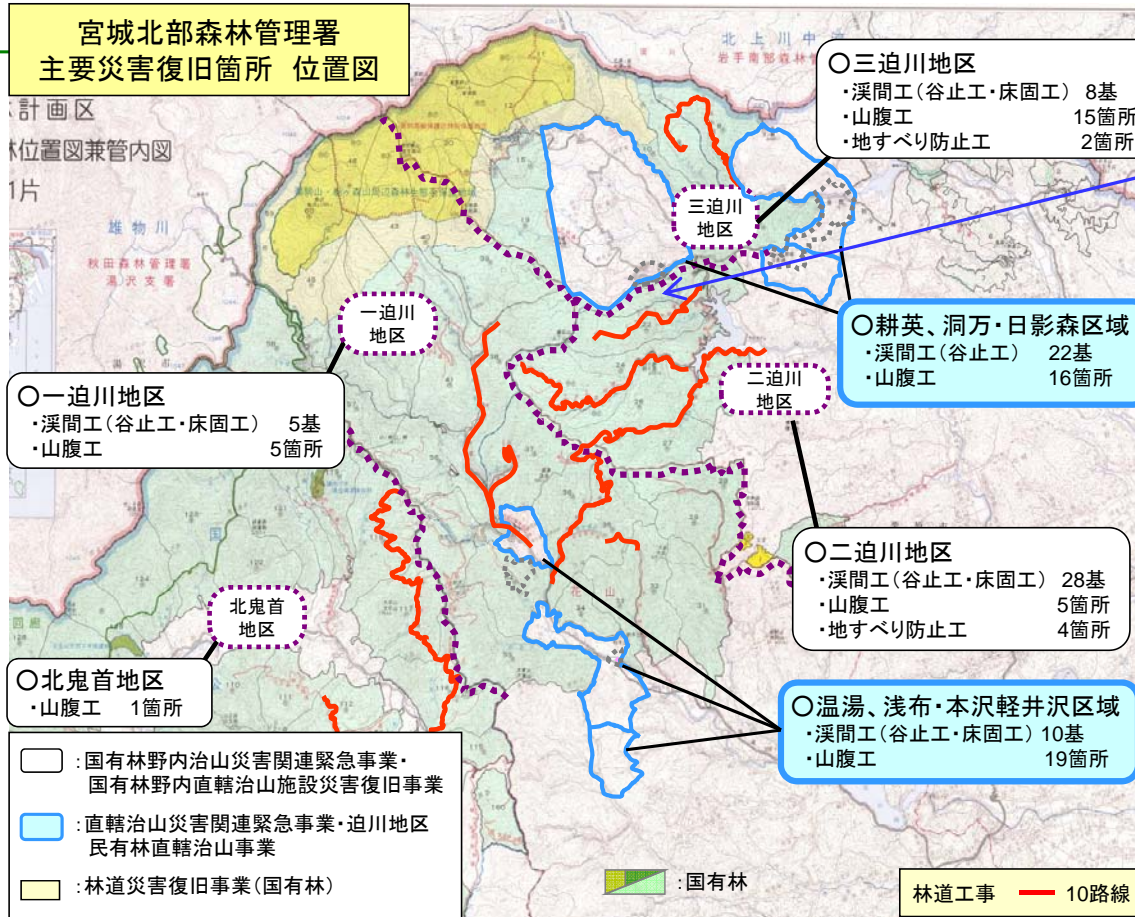


概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成23年度末までに国有林治山事業で溪間工41基、山腹工26箇所、地すべり対策工6箇所、民有林直轄治山事業で溪間工32基、山腹工35箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。平成24年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で5件、民有林治山事業で10件の工事をを行います。



岩手・宮城内陸地震の記録  
2008年6月14日 午前8時43分頃発生  
地震の規模 M7.2  
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)  
震源地 岩手県内陸南部  
地震の深さ 約8km  
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)



○ : 国有林野内治山災害関連緊急事業・国有林野内直轄治山施設災害復旧事業  
□ : 直轄治山災害関連緊急事業・迫川地区民有林直轄治山事業  
■ : 林道災害復旧事業(国有林)

○三迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 8基  
・山腹工 15箇所  
・地すべり防止工 2箇所

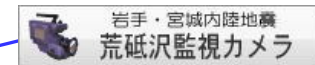
○耕英、洞万・日影森区域  
・溪間工(谷止工) 22基  
・山腹工 16箇所

○二迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 28基  
・山腹工 5箇所  
・地すべり防止工 4箇所

○温湯、浅布・本沢軽井沢区域  
・溪間工(谷止工・床固工) 10基  
・山腹工 19箇所

○一迫川地区  
・溪間工(谷止工・床固工) 5基  
・山腹工 5箇所

○北鬼首地区  
・山腹工 1箇所



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。  
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>)



平成25年1月30日撮影

被災地の復旧状況（山腹工・溪間工の事例）



本施行地は、栗原市栗駒の栗駒岳国有林に位置します。地震の影響により、山腹斜面が約5haにわたり崩壊し、崩落した大量の土砂により直下の三迫川の河道が閉塞するなどの災害となりました。



崩壊の拡大や土砂の流出を防ぐため、平成23年度までに鋼製枠谷止工、鋼製枠床固工、鋼製枠土留工、大型カゴ枠工などを設置しました。併せて丸太柵工、山腹緑化工等を施工し、表土の侵食防止と早期の森林への回復を図りました。

2012 栗原市産業まつり パネル展示の様子



平成24年10月28日、栗原市で開催された「2012栗原市産業まつり」において、平成20年岩手・宮城内陸地震による被災当時の状況と復旧対策の進捗状況等を紹介するパネルや画像を展示し、たくさんの地域の皆さんに見ていただきました。

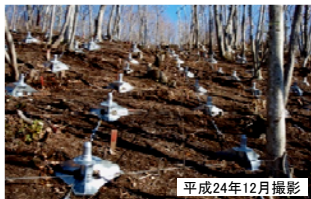
平成24年度 工事施工箇所

復旧工事を実行中です

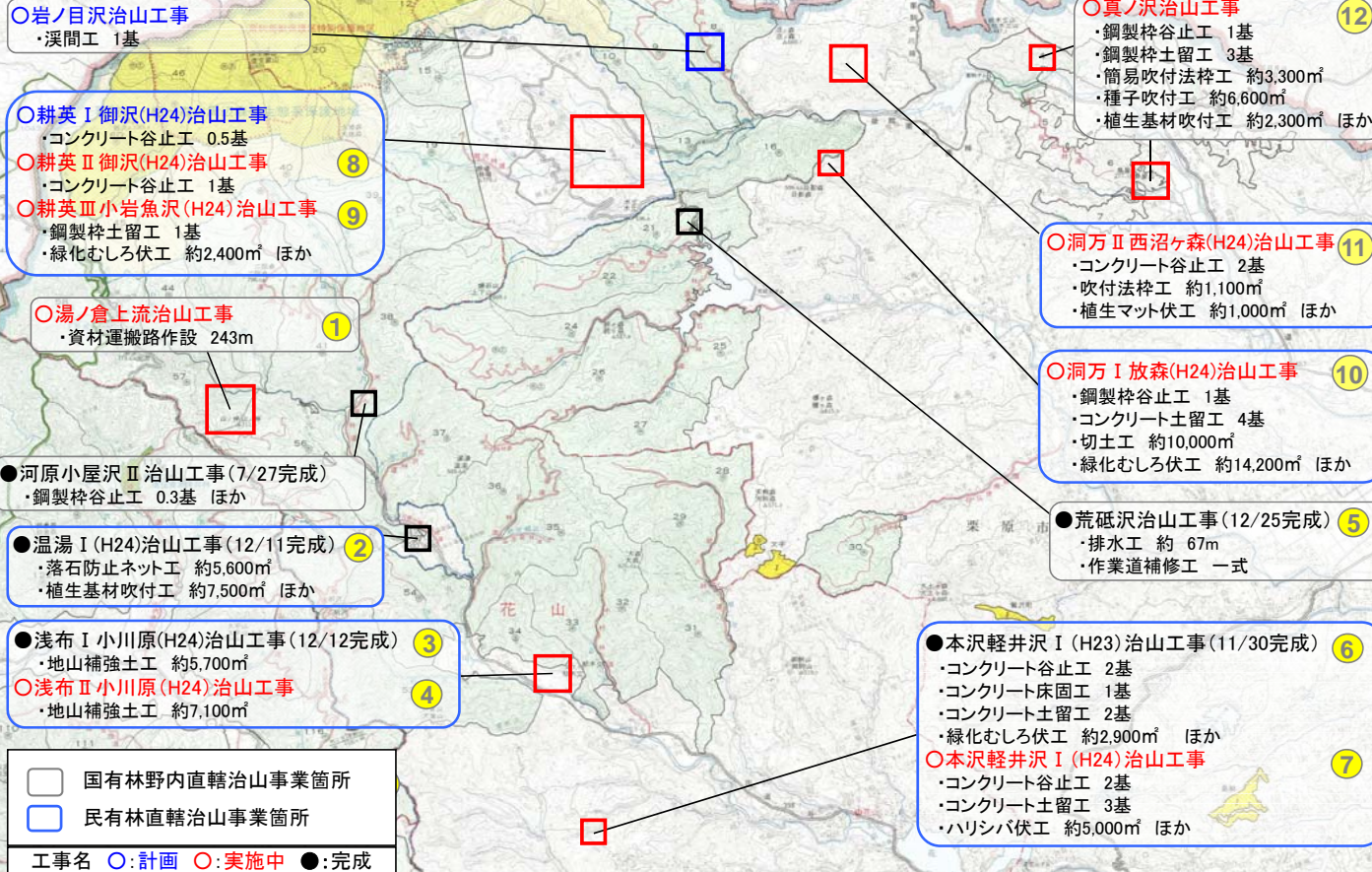
- 1 湯ノ倉上流 [資材運搬路作設]
  - ・掘削中です。



- 4 浅布Ⅱ小川原 (H24) [山腹工(地山補強土工)]
  - ・地山補強土工が出来ました。



- 7 本沢軽井沢Ⅰ (H24) [溪間工(コンクリート谷止工)]
  - ・コンクリート谷止工が出来ました。



復旧工事を実行中です

- 8 耕英Ⅱ御沢(H24) [溪間工(コンクリート谷止工)]
  - ・コンクリート打設中です。



- 9 耕英Ⅲ小岩魚沢(H24) [山腹工(ハリシバ伏工ほか)]
  - ・ハリシバ伏工が出来ました。



- 10 洞万Ⅰ放森(H24) [溪間工(鋼製砕土留工)ほか]
  - ・鋼製砕土留工が出来ました。



- 11 洞万Ⅱ西沼ヶ森(H24) [溪間工(コンクリート谷止工)]
  - ・コンクリート谷止工が出来ました。



- 12 真ノ沢 [山腹工(簡易吹付法砕工)]
  - ・法砕工の型枠を設置中です。



復旧工事が完成しました

- 2 湯湯Ⅰ (H24) [山腹工(落石防止ネット工ほか)]



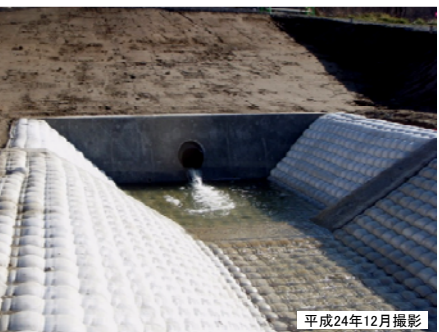
一迫川の沿岸の崩落斜面に対し、斜面からの落石を防止する落石防止ネット工、緑化を行うための植生基材吹付工を行いました。また、急崖部には大きな浮石や転石の固定のためロープ伏工を行いました。

- 3 浅布Ⅰ小川原 (H24) [山腹工(地山補強土工)]



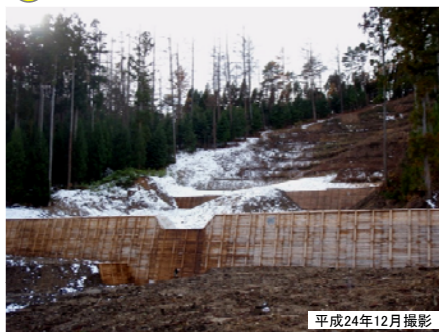
地震により亀裂が発生した山腹に対し崩壊の発生を未然に防止する地山補強土工を行いました。地中に鉄筋を挿入し、頭部に設置した支柱板をワイヤーで連結する工法で、樹木を残したまま斜面全体を補強することができます。

- 5 荒砥沢 [排水工 ほか]



地すべりにより形成された湛水池の水を地すべり地外へ完全に排水するため、暗渠排水管、土留工等を設置しました。

- 6 本沢軽井沢Ⅰ (H23) [山腹工・溪間工(土留工ほか)]



地震により発生した山腹崩壊の拡大と、堆積土砂の流出を防止するため土留工を設置しました。また、表土の侵食防止と早期緑化を図るため山腹緑化工を行いました。さらに、写真の下流部では渓流内に堆積した不安定土砂が流出しないよう床固工を設置しました。